



Innovation For Japan.

町の活性化に本気で取り組む、期間限定町長付就任プログラム。

Innovation For Japan (IFJ) は、大学生が地方自治体の「町長付」というポジションに1~2年間の期間限定で就任し、町長と一緒に町活性化に取り組むプログラムです。取り組む内容は農業振興や産業開発、商店街振興など、その自治体の事情によって様々なテーマが与えられます。1~2年間の任期を終了した後は、IFJプログラムから大学生に就職支援を行います。希望する学生は、地方自治体に残って地域活性の取り組みを続けることもできます。

プログラムの開始から就職活動までをサポート。

1. 町長付就任希望書の提出

町長付の就任を希望する学生は、就任希望書を提出する。

2. 「町長付」に就任

任期中、地域活性化の取り組みを行う。

3. 任期終了書を受け取る

任期終了後、自治体から公式の任期終了書を受け取る。

4. 就職支援

IFJプログラムから学生に様々な就職支援を行う。



町長からのメッセージ。

何をしたらいいかなんて、誰にも分からない。
分かっているのは、何かをしなければならないということ。

津和野町は島根県の最西端にある人口8500人ほどの町です。「山陰の小京都」として知られ、年間130万人を超える観光客の皆様に愛されてきました。しかし、近年は町民の高齢化と過疎化、それに伴う様々な課題に直面しています。20年後には人口は5000人ほどになるとも推計されています。このまま時が流れば町内の活気は薄れ、若者は一層町を離れ、消費は衰退し、より高齢化と過疎化は進行していくでしょう。私たちの町はそうした運命を抱えています。むしろ、これは津和野町だけの問題ではなく、日本全国の自治体が抱える大きな問題です。

町長に就任してから、様々な新しい取り組みをスタートさせてきました。一つひとつの取り組み自体は、とても地味で、おそらく皆さんは「当たり前のことやっている」と思うでしょう。しかし、この「当たり前のこと」がこれまで行われてこなかったことに、日本全国が抱える問題の原因があるのです。そして、近年耳にするようになった「地域活性化」の言葉が指すこととは、まさに「地域がやり残してきた当たり前のこと」を一つずつ実践し、地域全体が抱えるマイナスの要素をゼロにし、そしてプラスに転じていくということなのだとは私は考えています。

そうは言っても、私一人ができることは限られています。津和野町を本質的に変えていくには、現状の在り方に危機感と問題意識を持ち、私と共にビジョンを掲げて迷わず進み、周りを動かす熱意を持って、どんな困難にも主体的に取り組める若者の力が必要なのです。「津和野町での取り組みなど大したことない」などと思わないでください。津和野町は小さな町でしかありませんが、ここで抱えている問題を本質的に考えてみると、日本が抱えている問題でもあります。だからこそ、ここでの取り組みは、そのまま日本を変える取り組みとなり、その第一線は、この人口8500人の町にあるのです。

どれだけ今に不満があっても、どれだけ未来に希望を持ってなくても、日本の明日を作るのは私たち一人ひとりの行動です。

私たち一人ひとりが何を目指し、何に取り組むかによって、日本社会の運命は大きく変わっていくのです。

この拙い文章を読んで少しでも使命感を持ってくれたあなたに、私と一緒にこの町を変えていくというポストを用意しています。

私と一緒に、津和野を、日本を変えてください。

島根県鹿足郡津和野町長 下森 博之



Innovation
For Japan.

『町長を囲む会』

IFJプログラムは、2012年4月からスタートします。合わせて、下森町長が参加する飲み会を開催します。プログラムに興味のある方やもっと詳しい話を聞きたい方、「町長を囲む会」でざっくばらんに話しましょう。

日時

第1回 11月24日(木) 18:30~20:30
第2回 11月25日(金) 21:00~23:00
第3回 11月28日(月) 18:30~20:30

場所／参加費

渋谷 テッちゃん鍋 金太郎
〒150-0043 東京都渋谷区
道玄坂2-23-13 渋谷デリタワー7F
参加費: 2500円

名前、大学(大学院)、学年、携帯電話番号、参加希望回を明記し、下記アドレスまでメールして下さい。

innovationforjapan@gmail.com